

忠生中学校だより

げんとう かぜ
原頭の風

—2024年度 第1号—



2024年4月11日発行

子どもの数は命の数

～生徒が主役で、笑顔いっぱい輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



入学、進級おめでとうございます

校長 高橋 博幸

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

保護者、地域の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本校は4月9日（火）の入学式で新入生185名を迎え、生徒数682名、学級数25学級（9組7学級を含む）、教職員数60名で2024年度がスタートしました。

新入生の皆さん、中学校への入学おめでとうございます。まだしばらくの間は着慣れない制服や、新しい仲間、先輩、先生などとの出会い、教科ごとに異なる先生の授業、部活動への入部など、不安や緊張感が続くこともあると思いますが、焦らずに、少しずつ中学校生活に慣れていってください。分からないことがあったら、そのままにせず、遠慮なく先生や先輩に聞いてください。2・3年生の皆さんには、それぞれの進級おめでとうございます。中堅学年・最高学年としての活躍を期待するとともに、よりよい忠生中づくりに力を合わせて取り組んでいきましょう。

さて、今年度、本校は東京都教育委員会から「人権尊重教育推進校」の指定を受け、「子どもの数は命の数 ～生徒が主役で、笑顔いっぱい光り輝く学校～」をスローガンに、全教員の共通理解をもとに人権尊重教育を推進します。さらに、教員と生徒が人権意識を高めて生徒と共に学び合う学校という視点に立って、生徒たちが自他尊重につながる言葉使い、環境づくり、自尊感情の高揚、他者への思いやりに向けた研究・実践に取り組んでまいります。

生徒たちは入学式や始業式で新しい仲間と出会いました。新たな仲間との新しい生活のスタートです。生徒一人一人がこの新たな「出会い」を大切に、担任の先生や仲間と良好な人間関係を築き、健やかに成長していってくれることを願っています。



今年度も本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



◎ 「第11回多摩文化交流コンサート2023」に吹奏楽部が出演しました

3月31日（日）14時から町田市民ホールで、「第11回多摩文化交流コンサート2023」が開催されました。忠生中学校の吹奏楽部が出演しました。吹奏楽部の生徒の皆さんは10時から市民ホールの控室で熱心に練習しました。西多摩太鼓の演奏のあとに、吹奏楽部の皆さんは、「アルセナール」と「となりのトトロコレクション」を演奏しました。演奏が終わったら、会場からは大きな拍手が鳴り響きました。吹奏楽部の皆さんの一生懸命な演奏は、何度聞いても感動します。

コンサートの最後に、顧問の甘楽先生の指揮で、「宇宙戦艦ヤマト」を出演した日米の音楽家と一緒に合同演奏しました。吹奏楽部の皆さんの演奏は、聞いている方々に勇気や明日への希望を与えてくれます。

最後は、吹奏楽部の全員と先生方で写真を撮りました。

年度末の大変ご多用のところ、町田市民ホールに演奏を聞きに来ていただいた保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後とも吹奏楽部への応援をよろしくお願い致します。



合同演奏する町田市立忠生中の生徒と、日米の音楽家（3月31日、町田市で）

多摩地域ゆかりの音楽グループや文化団体が集う「多摩文化交流コンサート」が31日、町田市の町田市民ホールで開かれ、約850人が音色を楽しんだ。「多摩楽友協会」（あきる野市）の主催で、今年で11回目。横田基地（福生市など）が活動拠点の米空軍太平洋音楽隊メンバーによる金管五重奏や、海上自衛隊東京音楽隊、町田市立忠

生中学校の吹奏楽部、西多摩太鼓（福生市）が出演した。デイスニーやジブリ作品を始めとする日米の映画・アニメ音楽の演奏、力強い太鼓の響きを披露し、会場を魅了した。コンサートでは近年、防災意識の啓発にも力を入れており、幕末に津波から村民を救った「稲むらの火」の逸話を朗読。その後、NPO法人日本防災士会の会長

の浦野修さん（あきる野市在住）が講演し、「日頃の備えが命を守る」と訴えた。母親と訪れた高島ひかりさん（9）は、「迫力がすごい」と楽しんでいた。

多摩ゆかりの音色響く 町田 防災啓発の朗読・講演も